

～初級から楽しく描こう～

第11期 楽しい水彩・パステル

【7月の活動報告】

7月10日(月) 水彩 静物(2) 光の方向と影(明度で描く)

講義の概要

○光の方向には正面、斜め、側面、後方の4つの種類があり、それぞれに独特な心理作用があって大きな表現手段になる。明暗をよく見ること—明るさと暗さの度合いを見極める。

○影はなぜ重要なのか—静物画では影がそれぞれの静物をつなぎとめる役割をつとめる。陰にはそれ自体の色があり、本体の色によって影の色も変わる。

講義にひき続き実技と土方先生の指導があった。



7月24日(月) 水彩 静物(3) モチーフの組み合わせ・構図

講義の概要

○静物画を描く場合の題材の選び方、題材の置き方やならべ方について学んだ。

題材は数種類の形にそれぞれ大中小といった大きさに変化のあるもの、材質や色が異なるものなどが変化を表現できる。配置はオーバーラップや明度対比で奥行きや前後感が出しやすくなるよう配置する。

○制作プロセス

- ・鉛筆デッサンは着彩へと移るプロセスであり着彩の作業がやさしくなる。
- ・全体のバランスを考えて色を塗る。

講義にひき続き実技と土方先生の指導があった。

